

## =====

RELEASE NOTES  
=====

K-PROX 2.5 <http://www.kljtech.com/k-prox.html>  
株式会社ケイエルジェイテック CORE TEAM  
平成3年6月28日15:30  
（本件資料のエンコード方法：SHIFT-JIS）  
-----

## 【目次】

- 1 OS情報/Distribution情報
  - 2 GUIの情報
  - 3 アプリケーション
  - 4 フィルター機能
  - 5 連絡先/お問い合わせ情報
- 

## 【内容】

OS情報/Distributionに付いて

-----

Distribution RH系LinuxバージョンEL-5経由  
カーネル情報：  
kernel-2.6.18-238.12.1.el5.i686.rpm  
kernel-debug-2.6.18-238.12.1.el5.i686.rpm  
kernel-debug-devel-2.6.18-238.12.1.el5.i686.rpm  
kernel-devel-2.6.18-238.12.1.el5.i686.rpm  
kernel-doc-2.6.18-238.12.1.el5.noarch.rpm  
kernel-headers-2.6.18-238.12.1.el5.i386.rpm  
kernel-PAE-2.6.18-238.12.1.el5.i686.rpm  
kernel-PAE-devel-2.6.18-238.12.1.el5.i686.rpm  
上記経由のカーネルパッケージ対応

GUIの情報について

-----

Q K-PROX 1.0はwebmin系のGUIを使っているみたいですが、K-PROX 2.5はどんなGUIベースでしょうか？  
A K-PROX 2.5もwebmin 最新版をベースとしております。個々の機能に対する設定画面は、KLJTechオリジナルとなります。

アプリケーションに付いて

-----

Linux Distributionに入っているLinuxパッケージのオリジナル設定を提供しております。GUI以外の部分の開発環境では、ほぼ、C経由のバイナリーとなります（目的は1.0よりもパフォーマンスが上がる為）  
ライセンス: 株式会社ケイエルジェイテックのK-SERIESのOSディストリビューションです。

フィルター機能に付いて

-----

HTTP/FTPフィルターについて

-----

Q K-PROX 2.5とK-PROX 1.0のHTTP/FTPにおけるフィルター機能の違いはなんですか？  
A アンチウイルスエンジンの変更に伴う処理方法の見直しを行いました。

K-PROX 1.0 : Apache + mod\_proxyベース  
K-PROX 2.5 : Squid + ICAPベース

KPROX 2.5では、アンチウイルス（Kaspersky Anti Virus）、コンテンツフィルタ（i-FILTER）ともにICAPプロトコルを介した処理を行います。ウイルス検知時は、Kaspersky Anti Virusによる警告画面が、禁止されたサイトへのアクセスの場合は、i-FILTERによる警告画面が表示されます。

POP3アンチウイルスフィルターについて

-----

K-PROX 1.0 : UNIX/INETソケット経由で、Kaspersky Anti Virusに問い合わせます  
K-PROX 2.5 : ICAPソケット経由でKaspersky Anti Virusに問い合わせます

メール受信時に、ウイルスを検知した際には、K-PROXがウイルスメールのブロックと削除を行い、代わりに通知メールを受信者と管理者に送付します。  
KPROX 2.5はICAPソケット経由でKaspersky Anti Virusフィルターを行いますので、KPROX 2.5の通知メールはKaspersky ICAP経由のスキャンのメッセージとなります。

POP3アンチスパムフィルターについて

-----

K-PROX 1.0 : UNIX/INETソケット経由でBayesianフィルタ & Kaspersky Anti Spam OEMによるフィルターを行います。  
K-PROX 2.5 : UNIX/INETソケット経由でKaspersky Anti Spam 標準版によるフィルターを行います。

Q なぜ、K-PROX 1.0では、Bayesianフィルターを使用したのか？  
A K-PROX 1.0で採用していたKaspersky Anti Spam OEMエンジンのスパム検知処理のマシンの負荷が高く処理スピードに不安があったため、Bayesianフィルターを通してKaspersky Anti Spam OEMエンジンにメールを渡す仕組みとしていました。

Q なぜ、K-PROX 2.5では、Bayesianフィルターをやめたのですか？  
A アンチスパムエンジンであるKaspersky Anti SpamをOEM版から標準製品版に変更したことにより処理スピードが向上したこと、スパム検知のためのフィルタDBの更新が頻繁に行われていることなどから、Bayesianフィルターを使わないこととしました。

Q Bayesianフィルターを使わないことでデメリットはありますか？  
A ありません。逆にマシン負荷が軽くなる、Bayesian DBの更新のためのトラフィック

が削減されるなどのメリットがあります。

Q スパムの隔離機能はありますか？

A K-PROX 2.5では対応しておりません。

POBフィルタは、利用者がクライアントPC上のメールソフトを利用してメールボックスにアクセスしたタイミングで

ウイルスを検知      メールは削除し、ウイルスを検知・削除したことを利用者に通知  
スパムメール      メールの内容に"[SPAM !!!]"タグを追加

という動作をします。

さらに K-PROX 1.0では

スパムメールの場合、メールの隔離を行い、隔離したことを利用者に通知

という選択肢がございましたが、既存のお客様や代理店などから「POPプロキシにおけるメール隔離は、機能的にあまり意味がないのでは」との意見が多かったため、KPROX 2.5の標準機能から削除させていただきました。

個別での対応については、相談ベースでの対応とさせていただきます。

・メール送信フィルター（SMTPプロキシ・フィルター機能）

KPROX 2.5から追加機能として、アンチウイルスフィルター機能を提供します。

アンチスパムフィルター機能については今後追加予定です。

ウイルス・メールを送信しようとするSMTPリクエストがあった場合、送信元に対してはSMTPパーマネント・エラーを回答することにより、ウイルスメールが利用者のメールボックスに配送されなくなります。

その結果は、K-PROXのSMTPプロキシログに記録され、統計として参照することが可能です。

統計、レポートについて

Q K-PROX 2.5のウイルス統計について、K-PROX 1.0と違いがありますか？

A アンチウイルスエンジンの変更にもなう統計機能全般の再設計を行いましたが見た目は旧製品と同等になるよう開発しております。ウイルス統計は、Web、POP、SMTPの三種類をご提供いたします。

Q K-PROX 2.5のスパム統計について、K-PROX 1.0と違いがありますか？

A K-PROX 1.0と同様にKASのGUIで、確認していただくことが出来ます。見た目に関する大きな変更はございません。

連絡に付いて

本件に資料について、株式会社ケイエルジェイテック K-PROX 2.5の正式な資料となります。

製品のRELEASE-NOTESとなります、これ以上追加資料が御座いましたらホームページ経由でCHANGELOG追加資料を提供致します。御確認が御座いましたら下記の問い合わせ情報にご連絡を下さい。

株式会社ケイエルジェイテック  
セキュリティ・アプライアンス・開発センター(C.O.R.E)

<http://www.kljtech.com/>

E-mail: [support@kljtech.com](mailto:support@kljtech.com)

〒01-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-14 第二東ビル5階

TEL: 03-5297-4004 FAX: 03-5297-4005

以上